

Clip!

水道の災害対策

問合先：水資源活用課

水道業務担当・簡易水道担当・水道工務担当

く地震・台風など、災害はいつ起ころかわかりません！

災害時にもっとも大切なのは飲料水の確保です。市では、市民の皆様の飲料水が確保できるよう日ごろから施設の点検を行っております。

また、水道施設整備基本計画（平成23～32年度）の中で、市立病院や公共施設、避難所など、重要施設に直結する管路を重要路線として位置付け、耐震化への整備を進めています。

○家庭での飲料水確保

大規模災害が発生し、水道施設が破損した場合、皆さんに水が行き渡るまでに数日間かかってしまうこともあります。そこで、一人ひとりの水の確保が大切となつてきます。各ご家庭で日頃から飲料水の備蓄に心がけましょう。

人間が生命を維持するために必要な水の量は、成人で1日約3リットルと言われています。この量を目安に家族全員が3日間無事に生活できる量を「ため置き」しましょう。

「ため置き」は、フタのできる清潔な容器に空気が残らないよう口元いっぱいまで水を入れ、日のあたらない涼しい場所で保管してください。保存できる期

間は、20リットルで約1週間が目安ですが、夏場などは早めに水の入替えを行いましょ。

○配水池緊急遮断設備

地震などの災害で配水管が破損すると、配水池から大量の水が流出し飲料水の不足、または、流出した水による2次災害が発生する可能性があります。このような事態を防止するため、大地震などの影響で配水池の流量計が過度な流量を感知すると、自動的に緊急遮断弁が閉じ、飲料水を確保する装置を主要施設に設置しています。

○応急給水活動

災害時の応急給水用資機材として、6リットル用のポリタンクを常備しています。また、積載型の給水タンク車を備えており、災害時においても迅速に飲料水の供給ができるようになっていきます。そのほか、各地域にある防災倉庫に、ペットボトル飲料水『つるの水物語』熊太郎の大好物』の備蓄も行っています。



子育て情報コーナー

とがちび

とがちび

とがちび

今月の「ふれあい・子育てサロン」

託児サロン

日時 9月12日(月)10時～14時
場所 いきいきプラザ都留2階
持ち物 お気に入りのおもちゃ、おやつ、保険証の写し、着替え、靴

※お昼をはさんで預けたい方は、お弁当を持参してください。

費用 100円(保険・運営費)
申込・問合先
市社会福祉協議会
☎(46)5115

図書館よみかせ

ボランティア

「ひびきの会」の読み聞かせ

日時 9月10日(土)14時～
場所 情報未来館

内容 みんなが選んだ紙芝居や絵本を読みます。

こぐまクラブの「こぐまのちいさなおはなし会」

日時 9月16日(金)10時30分～
場所 情報未来館
内容 乳児から未就園児の親子を対象に読み聞かせや手遊びをします。

こぶたの会の「フクフクおはなし会」

日時 9月24日(土)14時～
場所 情報未来館
内容 楽しい歌やおはなしをします。

問合先 市立図書館
☎(43)1324

